

一般社団法人 ねばのもり

森林面積9割の根羽村で、 森林を活用した地域活性化を！

事業内容

森林資源活用事業

企業データ

- 代表者／杉山 泰彦
- 所在地／下伊那郡根羽村1992 まつや邸
- 従業員数／0名
- 連絡先／☎080-4160-1991

イントロダクション

令和2年8月創業。長野県の一番南の端にある根羽村の活性化事業に取り組んでいる。根羽村の豊かな森を様々な活用することによって、人々と、森林と、そして経済、これらが共栄できる里山モデルを作っていくことを目指している。

企業の現状 及び 支援の経緯



「木を切って木材を売る」という従来型の森林経営は利益率が低く、建築材の販売だけでは経営が厳しい現状にある。また、代表者は、根羽村の9割が森林にもかかわらず、村民の森林に対する意識が薄れていることにも危機感を持った。代表者は、地域ブランディングを得意としている東京のWEB企画運営会社の一員として根羽村のプロモーションを行ったことが縁で、新規に法人を立ち上げて、村の森林活用事業を事業化することを決意した。

実施した 支援内容

事業を開始するに当たり、ソーシャル・ビジネス創業支援金を活用したいとの要望から、ながの創業サポートオフィスに相談があった。

創業・ベンチャー推進員は、代表者から事業内容をヒアリングし、対話の中から代表者が持つビジョンを具体化し、事業計画に落とし込む作業をサポートした。

- ・木材搬出以外での森林を利活用して、価値を上げる事業を開発すること
- ・木育活動などを通じて、子供たちが森や山で楽しめる機会や知識を提供していくこと

収支計画の目論見では、各事業の内容を精査して具体的な数値を見込んでの検討となった。村と森林組合、隣接する愛知県の自治体と歩調が取れていることから、スタート時としては一定の事業収入が期待できることは強みであった。



支援の結果 及び 今後の展開等



ソーシャル・ビジネス創業支援金の採択を受け、8月に創業。山地酪農地でのベンチャー企業研修の受け入れや、親子向けのイベントを受託運営した。

当初の売上は小規模だが、事業の展望と企画がしっかりしており、営業力をつけていけば事業の継続性は十分見込める。

今後は、森林を活かし育てながら、付加価値が創出されることで、根羽村の活性化が進展していくことが期待される。

支援をうけて

代表理事 杉山 泰彦 氏

ソーシャル・ビジネスという答えが不明確で成功を実感するまでに時間がかかる取り組みの中で、金銭的サポートを通じて挑戦を支援していただけたのはとてもありがたかったです。一歩目を踏み出したことで、よりいろいろな景色が現実に見えてきたことが収穫なので、支援が終わった後でも継続的に活動できる組織に成長させるよう頑張りたいと思います。